



KYOTO UNIVERSITY
Global COE Program
INTEGRATED
MATERIALS SCIENCE

グローバルCOE「統合物質科学」セミナー

“Time-resolved Electron Cryo-microscopy Revealed
Maturation Dynamics of a Pseudo T=4 Viral Capsid”
(擬T=4ウイルスカプシド成熟過程の時分割極低温電顕解析)

講師：松井 勉 博士 (The Scripps Research Institute)

日時：平成20年12月25日(木) 15:00～17:00

会場：化学研究所 本館北棟東 3階セミナー室 (C-324室)

概要： *Nudaurelia Capensis* omega Virus (NwV)の外被タンパク質粒子(VLPs)は、pHを中性付近から酸性へ変化させると自然タンパク質分解してプロカプシド(直径480 Å)からカプシド(直径420 Å)へ変化する。野生型VLPsのpHを7.6から5.0に下げた後の異なる時間点での構造を極低温電子顕微鏡解析と一粒子再構成手法で解析することで、NwVの分解サイトが形成されて擬似T=4正二十面体が形成される過程を解明することができた。

連絡先： 構造分子生物学領域 畑 安雄 (内線 3040)